

科目名	現代の国語1			単位数	1	履修区分	必履修
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材		新編 現代の国語 改訂版 (大修館書店)	
履修の条件	前期(4月～9月)のみ開講。 引き続き「現代の国語2」を履修すること。						
先生からの アドバイス	中学校での学習に引き続き、国語で適切かつ効果的に表現する力を身につけ、伝え合う力を高めます。 社会生活に必要な国語の力を中心に学習し、社会人になった皆さんが充実した生活が送れるようになることを目標にしています。						

科目名	現代の国語2			単位数	1	履修区分	必履修
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材		新編 現代の国語 改訂版 (大修館書店)	
履修の条件	前期(4月～9月)のみ開講。 「現代の国語1」を履修した後、引き続き履修すること。						
先生からの アドバイス	「現代の国語1」の学習に引き続き、言語感覚を磨き、進んで表現することによってさらなる国語力の向上を目指します。 社会生活に必要な国語の力を中心に学習し、社会人になった皆さんが充実した生活が送れるようになることを目標にしています。						

科目名	現代の国語			単位数	2	履修区分	必履修
対象の部			夜間部	使用教科書 教材		新編 現代の国語 改訂版 (大修館書店)	
履修の条件							
先生からの アドバイス	中学校での学習に引き続き、国語で適切かつ効果的に表現する力を身につけ、伝え合う力を高めます。 社会生活に必要な国語の力を中心に学習し、社会人になった皆さんが充実した生活が送れるようになることを目標にしています。						

科目名	言語文化1			単位数	1	履修区分	必履修
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材		新編 言語文化 改訂版 (大修館書店)	
履修の条件	後期(10月～3月)のみ開講。 引き続き、「言語文化2」を履修すること。						
先生からの アドバイス	中学校の学習に引き続き、現代文、古文、漢文などさまざまな文章を読みます。日本古来の文化や言葉にふれ、豊かな視点を身につけましょう。						

科目名	言語文化2			単位数	1	履修区分	必履修
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材		新編 言語文化 改訂版 (大修館書店)	
履修の条件	後期(10月～3月)のみ開講。 「言語文化1」を履修した後、引き続き履修すること。						
先生からの アドバイス	言語文化1に続き、古典から現代に至るさまざまな文章を読みます。 それらを深く学び、実生活に活かすことで人生を豊かにしていきましょう。						

科目名	言語文化			単位数	2	履修区分	必履修
対象の部			夜間部	使用教科書 教材		新編 言語文化 改訂版 (大修館書店)	
履修の条件							
先生からの アドバイス	中学校の学習に引き続き、現代文、古文、漢文などさまざまな文章を 読みます。日本古来の文化や言葉にふれ、豊かな視点を身につけましょ う。						

科目名	論理国語			単位数	3	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材		新編 論理国語 (大修館書店)	
履修の条件	「現代の国語2」「言語文化2」と同時に履修、または「現代の国語2」「言 語文化2」を履修した後に履修すること。						
先生からの アドバイス	実社会に必要な国語の知識や技能を学ぶことを目的としています。他 者との関わり合いの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり 深めたりする力を身につけましょう。						

科目名	文学国語			単位数	4	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材		新編 文学国語 (大修館書店)	
履修の条件	「現代の国語2」「言語文化2」を履修した後に履修すること。						
先生からの アドバイス	社会生活で必要な国語の知識や技能を学び、言語文化に対する理解を 深めることを目的としています。深く共感したり豊かに想像する力を伸 ばし、他者との関わり合いの中で自分の思いや考えを深める力を身につ けましょう。						

科目名	国語表現1			単位数	2	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	国語表現 (大修館書店)		
履修の条件	「現代の国語2」「言語文化2」と同時に履修、または「現代の国語2」「言語文化2」を履修した後に履修すること。引き続き「国語表現2」を履修すること。						
先生からの アドバイス	教科書に沿って「伝え合う力」を身につけます。 文章の作者と向き合ったり、講座受講者と話し合ったりして、伝わるようにするにはどうしたらよいかを考えていきます。演習科目ですので、たくさん読んで、たくさん書いて、たくさん話して、たくさん考えます。						

科目名	国語表現2			単位数	2	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	国語表現 (大修館書店)		
履修の条件	「現代の国語2」「言語文化2」と同時に履修、または「現代の国語2」「言語文化2」を履修した後に履修すること。「国語表現1」に引き続いて履修すること。						
先生からの アドバイス	教科書に沿って「伝え合う力」を身につけます。 文章の作者と向き合ったり、講座受講者と話し合ったりして、伝わるようにするにはどうしたらよいかを考えていきます。演習科目ですので、たくさん読んで、たくさん書いて、たくさん話して、たくさん考えます。						

科目名	国語常識			単位数	②	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材	いきいきとアライブ国語常識 (浜島書店)		
履修の条件	「現代の国語2」「言語文化2」と同時に履修、または「現代の国語2」「言語文化2」を履修した後に履修すること。						
先生からの アドバイス	漢字・語句・作文など、高校生として必要な国語常識を教科書やプリントを使って学習します。就職・進学に際してはもちろん、社会に出ても役立つ内容です。						

科目名	実用漢字			単位数	②	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	常用漢字オールクリア 五 訂版 (尚文出版)		
履修の条件							
先生からの アドバイス	実社会に出て対応できる漢字力を身につける授業です。また就職時に必要な漢字検定合格などを目標に学習します。授業形態は、テキストを自学自習して小テストを受け、合格すれば次の級に進める形です。						

科目名	短歌・俳句			単位数	①	履修区分	自由選択
対象の部		午後部		使用教科書 教材		カラー版新国語便覧 (第一学習社)	
履修の条件	「現代の国語2」「言語文化2」と同時に履修、または「現代の国語2」「言語文化2」を履修した後に履修すること。履修可能人数30名。						
先生からの アドバイス	短歌・俳句の歴史を勉強したり、自作の短歌・俳句の合評会をします。先人がどのような思いで、短歌や俳句を作ったかを勉強したり、作品に触れることで、自分の短歌や俳句も自由に作れるようになっていきます。						

科目名	名作鑑賞			単位数	②	履修区分	自由選択
対象の部		午後部	夜間部	使用教科書 教材		カラー版新国語便覧 (第一学習社)	
履修の条件	「現代の国語2」「言語文化2」を履修した後に履修すること。						
先生からの アドバイス	名作に表れる、人間・社会・自然などに対するものの見方、世界のとらえ方を読み取ることで、思考力を伸ばし豊かな心を身につけましょう。						

科目名	地理総合			単位数	2	履修区分	必履修
対象の部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材	高校生の地理総合（帝国書院） 標準高等地図（帝国書院）		
履修の条件							
先生からの アドバイス	<p>皆さんは、新聞やテレビ、インターネットを通じて、さまざまな国の情報を知ることができます。その情報量は膨大で、ときには混乱してしまうこともあります。地理総合の授業では、地理的な語句や考え方を理解し、世界の国々や地域について主体的に学ぶ力を身につけていきます。</p>						

科目名	歴史総合			単位数	2	履修区分	必履修
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	明解 歴史総合（帝国書院） 標準高等地図（帝国書院）		
履修の条件							
先生からの アドバイス	<p>江戸時代末期、ペリーの来航から現代にかけての歴史を中心に学習します。現代の日本は過去の歴史の積み重ねの上に成り立っています。歴史を学ぶことは自分自身の成り立ちを学ぶことでもあります。</p>						

科目名	歴史総合			単位数	3	履修区分	必履修
対象の部			夜間部	使用教科書 教材	明解 歴史総合（帝国書院） 標準高等地図（帝国書院）		
履修の条件							
先生からの アドバイス	<p>江戸時代末期、ペリーの来航から現代にかけての歴史を中心に学習します。現代の日本は過去の歴史の積み重ねの上に成り立っています。歴史を学ぶことは自分自身の成り立ちを学ぶことでもあります。</p>						

科目名	地理探究			単位数	4	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	新詳地理探究（帝国書院） 標準高等地図（帝国書院）		
履修の条件	「地理総合」の単位を修得済みであること。						
先生からの アドバイス	<p>皆さんが生きる21世紀、世界はさらに結びつきを強め、皆さんが世界と関わる機会も増えるでしょう。地理を学ぶことは、自分自身と世界とのつながりを理解し、視野を広げることにつながります。地理探究では、地理総合の基礎の上にさらに学びを深め、考える力・生き抜く力を高めていきます。</p>						

科目名	日本史探求			単位数	4	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	高等学校 日本史探求 (清水書院)		
履修の条件	「歴史総合」の単位を修得済みであること。						
先生からの アドバイス	日本史探求では、世界史のとの関連を踏まえながら古代から現代までの日本の歴史の歩みを総合的に学習します。歴史をイメージできるよう映像等の教材もふんだんに取り入れていきます。						

科目名	世界史探究			単位数	4	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	高等学校 世界史探究 (第一学習社)		
履修の条件	「歴史総合」の単位を修得済みであること。						
先生からの アドバイス	「失敗から成功のヒントを得る」。これは歴史学習でも同じことが言えます。実は世界史には、世界中の人類が獲得してきた英知や経験がぎゅっとつまっています。現代と異なる過去の世界を学ぶことで、生きるヒントを得られるでしょう。世界史探究では、古代から現代までを広く学習していきます。						

科目名	公共			単位数	2	履修区分	必修
対象の部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材	高等学校 新公共 (第一学習社)		
履修の条件							
先生からの アドバイス	現代社会の諸課題について考え、選択・判断するための理論を習得し、自立した主体として国家・社会の形成に参画する力を育成します。社会で生きていく上で必要不可欠な政治や経済に関する基本的な知識を学び、更に過去から現代までの思想など様々な考え方・社会の性質なども学習していきます。						

科目名	政治・経済			単位数	2	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材	最新 政治・経済 (実教出版)		
履修の条件	「公共」の単位を修得済みであること。						
先生からの アドバイス	公共を基盤として、政治・経済を深く専門的に学習します。現代の政治・経済の仕組みや、国際情勢などをより詳しく学んでいきます。						

科目名	時事問題			単位数	2	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材	ニュービジョン公共 (浜島書店)		
履修の条件							
先生からの アドバイス	<p>マスコミ（新聞・テレビ等）で取り上げられる国内・国際問題等について様々な側面から考えていきたい。また自分にとって興味関心のある問題について、自分なりに深掘して考えをまとめてみましょう。</p>						

科目名	数学Ⅰ			単位数	3	履修区分	必履修
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材		改訂版	新 高校の数学Ⅰ (数研出版)
履修の条件							
先生からの アドバイス	午前部および午後部の生徒は数学Ⅰ(3単位)を1年次で履修します。高校生としての数学の基本的な内容を学ぶ科目です。習熟度別のクラスで授業を行います。必履修科目なので、履修が認定されないと卒業できません。						

科目名	数学Ⅰ 1			単位数	2	履修区分	必履修
対象の部			夜間部	使用教科書 教材		改訂版	新 高校の数学Ⅰ (数研出版)
履修の条件							
先生からの アドバイス	夜間部の生徒は数学Ⅰ(4単位)を1年次と2年次にわけて2単位ずつ履修します。高校生としての数学の基本的な内容を学ぶ科目です。数学Ⅰ 1は1年次で開講されます。必履修科目なので、2年次で開講される数学Ⅰ 2と併せて履修が認定されないと卒業できません。						

科目名	数学Ⅰ 2			単位数	2	履修区分	必履修
対象の部			夜間部	使用教科書 教材		改訂版	新 高校の数学Ⅰ (数研出版)
履修の条件							
先生からの アドバイス	夜間部の生徒は数学Ⅰ(4単位)を1年次と2年次にわけて2単位ずつ履修します。高校生としての数学の基本的な内容を学ぶ科目です。数学Ⅰ 2は2年次で開講されます。必履修科目なので、1年次で開講される数学Ⅰ 1と併せて履修が認定されないと卒業できません。						

科目名	数学Ⅱ			単位数	4	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材		新	高校の数学Ⅱ (数研出版)
履修の条件	数学Ⅰの履修が認定された後に履修すること						
先生からの アドバイス	数学Ⅰよりも発展的な内容を学習します。数学Ⅰの知識を必要とします。理系の大学や専門学校への進学を目指す生徒は、履修すると良いでしょう。また、理系の四年制大学に進学を希望する生徒は、2年次での履修をお勧めします。						

科目名	数学Ⅲ			単位数	4	履修区分	自由選択
対象の部	午前部			使用教科書 教材	最新 数学Ⅲ (数研出版)		
履修の条件	数学Ⅰ、Ⅱの履修が認定された後に履修すること						
先生からの アドバイス	数学Ⅰ、Ⅱ、A、Bの知識を必要とするので、あらかじめ数学Ⅰ、Ⅱ、A、Bを履修しておきましょう。また、数学Cを同時に履修することが望ましいです。将来、数学が必要な専門分野に進もうとする生徒や、数学に強い興味・関心をもって更に深く学習しようとする生徒向けの科目です。						

科目名	数学A			単位数	2	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	改訂版 新 高校の数学A (数研出版)		
履修の条件	数学Ⅰの履修と並行して、あるいは数学Ⅰの履修が認定された後に履修すること						
先生からの アドバイス	標準的な内容を学習します。文章題(文章の形式になっている問題)が多いので、文章を読み取る力が必要です。中学校までに学習した「場合の数」「確率」「図形」「方程式」の知識があると内容が理解しやすいでしょう。大学や専門学校への進学を目指している生徒は、1年次または2年次に履修すると良いでしょう。なお、理系の四年制大学に進学を希望する生徒は、1年次で履修しておくことをお勧めします。						

科目名	数学B			単位数	2	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	新 高校の数学B (数研出版)		
履修の条件	数学Ⅰの履修が認定された後に履修すること						
先生からの アドバイス	数学Ⅰよりも発展的な内容を学習します。数学Ⅰの知識を必要とします。理系の大学や専門学校への進学を目指す生徒は、履修すると良いでしょう。3年次で数学Ⅲを履修したい場合には、2年次で数学Bを履修することをお勧めします。						

科目名	数学C			単位数	2	履修区分	自由選択
対象の部	午前部			使用教科書 教材	NEXT 数学C(数研出版)		
履修の条件	数学Ⅰの履修が認定された後に履修すること						
先生からの アドバイス	数学Ⅰ、Ⅱの知識を必要とするので、あらかじめ数学Ⅰ、Ⅱを履修しておきましょう。将来、数学が必要な専門分野に進もうとする生徒や、数学に強い興味・関心をもって更に深く学習しようとする生徒向けの科目です。						

科目名	数学基礎			単位数	②	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材		改訂版 Step By Step! 新高校の数学Ⅰ(数研出版)	
履修の条件							
先生からの アドバイス	数と式について、数学Ⅰまでに学習した様々な内容を学び直す科目です。計算が苦手であったり高校までの数学の内容を復習したい生徒は、履修すると良いでしょう。						

科目名	数学基礎			単位数	③	履修区分	自由選択
対象の部			夜間部	使用教科書 教材		改訂版 Step By Step! 新高校の数学Ⅰ(数研出版)	
履修の条件							
先生からの アドバイス	数と式について、数学Ⅰまでに学習した様々な内容を学び直す科目です。計算が苦手であったり高校までの数学の内容を復習したい生徒は、履修すると良いでしょう。						

科目名	数学活用			単位数	②	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材		実用数学セミナー (浜島書店)	
履修の条件							
先生からの アドバイス	数学Ⅰまでに学習した基本的な内容を学習しますので、卒業前に総復習しましょう。割合や単位の計算も行うので入社試験等にも対応しています。就職を希望する生徒は卒業見込み年次に履修することが望ましいです。						

科目名	数学活用			単位数	③	履修区分	自由選択
対象の部			夜間部	使用教科書 教材		実用数学セミナー (浜島書店)	
履修の条件							
先生からの アドバイス	数学Ⅰまでに学習した基本的な内容を学習しますので、卒業前に総復習しましょう。割合や単位の計算も行うので入社試験等にも対応しています。						

科目名	科学と人間生活			単位数	2	履修区分	必履修
対象の部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材	高等学校 改訂 科学と人間生活 (第一学習社)		
履修の条件							
先生からの アドバイス	<p>高等学校における理科系科目の基礎的な内容を幅広く学習します。基本的な事項を中心に学習しますが、一部最先端の内容も含まれます。</p> <p>2年次以降に履修する科目に関わることも取り扱うので、集中して授業に取り組んでください。</p>						

科目名	物理基礎			単位数	2	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	高等学校 改訂 新物理基礎 (第一学習社)		
履修の条件							
先生からの アドバイス	<p>数学がある程度得意な人向けの科目です。</p> <p>物理的な実験や基本的な計算なども行いながら、自然現象を理論的に考えます。</p>						

科目名	化学基礎			単位数	3	履修区分	選択必履修
対象の部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材	高等学校 改訂 新化学基礎 (第一学習社)		
履修の条件							
先生からの アドバイス	<p>自然現象の観察・実験などを通して、物質の成り立ちを中心に学習し様々な物質の構成や性質、変化について学びます。環境・技術や生活との関連についても理解を深められるでしょう。</p> <p>3年次以降に「化学」の履修を希望する者は必ず履修しなければいけません。</p>						

科目名	化学			単位数	4	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	新編 化学 (数研出版)		
履修の条件	化学基礎を履修済みの生徒を対象としています。						
先生からの アドバイス	<p>極めて専門的であるため、文系と理系にコース分けするような学校でも、理系の生徒の一部しか選択しない科目です。化学基礎の内容が十分に理解できている人でないと、選択しても習得は難しいでしょう。計算をする必要もあるので、数学のスキルも必要になってきます。</p>						

科目名	生物基礎			単位数	3	履修区分	選択必履修
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材		高等学校 改訂 新生物基礎 (第一学習社)	
履修の条件							
先生からの アドバイス	<p>私たちの周り（環境）には、たくさんの生物がいます。そして、私たち自身も生物の一種です。生物はどのような構造や機能を持っているのか、病気の原因や自己を守る仕組みはどうなっているのか、生物どうしの相互作用によって形成される生態系とはどのようなものか、ということ学びます。多様な生物と上手に生きていくために、生物基礎を学びましょう。</p>						

科目名	生物基礎			単位数	2	履修区分	必履修
対象の部			夜間部	使用教科書 教材		高等学校 改訂 新生物基礎 (第一学習社)	
履修の条件							
先生からの アドバイス	<p>私たちの周り（環境）には、たくさんの生物がいます。そして、私たち自身も生物の一種です。生物はどのような構造や機能を持っているのか、病気の原因や自己を守る仕組みはどうなっているのか、生物どうしの相互作用によって形成される生態系とはどのようなものか、ということ学びます。多様な生物と上手に生きていくために、生物基礎を学びましょう。</p>						

科目名	生物			単位数	4	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材		高等学校 生物 (第一学習社)	
履修の条件	<p>1 生物基礎を履修した後に履修すること。 2 生物α(2単位)と生物β(2単位)を合わせて履修すること。</p>						
先生からの アドバイス	<p>極めて専門的であるため、文系と理系にコース分けするような学校でも、理系の生徒の一部しか選択しない科目です。生物基礎の内容が十分に理解できている人でないと、選択しても習得は難しいでしょう。内容に生化学分野が含まれているため、化学基礎の知識も必要です。医学・薬学・医療系・理学生物・農学などへの進学を目指す人に向いています。</p>						

科目名	地学基礎			単位数	2	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材		高等学校 改訂 地学基礎 (第一学習社)	
履修の条件							
先生からの アドバイス	<p>地球の形状や構造、地震や火山活動、大気と海洋、太陽系をはじめとする宇宙の構造について勉強します。化石や岩石に触れたり、インターネットや博物館を利用したりしながら、楽しく実り豊かな授業にしていきたいと思います。</p>						

科目名	体育1			単位数	2	履修区分	必履修
対象の部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材	新高等保健体育 改訂版 (大修館書店)		
履修の条件							
先生からの アドバイス	各領域の運動種目を取り扱い、中学校3学年との接続を重視し、運動の楽しさや、喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続できるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身につけます。「体育理論」では、スポーツの文化的特性や現代のスポーツ発展について学習します。						

科目名	体育2			単位数	2	履修区分	必履修
対象の部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材	新高等保健体育 改訂版 (大修館書店)		
履修の条件							
先生からの アドバイス	各領域の運動種目を取り扱い、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養います。「体育理論」では、運動やスポーツの効果的な学習の仕方を学習します。						

科目名	体育3			単位数	3	履修区分	必履修
対象の部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材	新高等保健体育 改訂版 (大修館書店)		
履修の条件							
先生からの アドバイス	各領域の運動種目を取扱い、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を身につけるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養います。						

科目名	体育4			単位数	2	履修区分	必履修
対象の部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材	新高等保健体育 改訂版 (大修館書店)		
履修の条件	体育1、体育2、体育3をすべて修得していること。ただし、夜間部は必履修である。						
先生からの アドバイス	各領域の運動種目を取扱い、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を身につけるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養います。						

科目名	保健1			単位数	1	履修区分	必履修
対象の部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材		新高等保健体育改訂版 (大修館書店) 新高等保健体育ノート	
履修の条件							
先生からの アドバイス	<p>個人及び社会生活における健康・安全に関する理解を通して健康についての総合的な認識を深め、保健の見方・考え方を働かせ、生涯を通じて自他や社会の健康に関する課題を解決していくための資質や能力の育成を図ります。</p> <p>内容のまとめについては、「現代社会と健康」、「安全な社会生活」の2項目とします。</p>						

科目名	保健2			単位数	1	履修区分	必履修
対象の部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材		新高等保健体育改訂版 (大修館書店) 新高等保健体育ノート	
履修の条件							
先生からの アドバイス	<p>個人及び社会生活における健康・安全に関する理解を通して健康についての総合的な認識を深め、保健の見方・考え方を働かせ、生涯を通じて自他や社会の健康に関する課題を解決していくための資質や能力の育成を図ります。</p> <p>内容のまとめについては、「生涯を通じる健康」、「健康を支える環境作り」の2項目とします。</p>						

科目名	音楽Ⅰ			単位数	2	履修区分	選択必修
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	音楽Ⅰ 改訂版 Tutti + (大修館書店)		
履修の条件							
先生からの アドバイス	歌や器楽、音楽鑑賞などの音楽活動を中心に行っていきます。音楽が好きな人は是非受講してください。						

科目名	音楽Ⅱ			単位数	2	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	音楽Ⅱ 改訂版 Tutti + (大修館書店)		
履修の条件	音楽Ⅰを履修した後に履修すること。						
先生からの アドバイス	音楽Ⅰでの活動に続いて、より表現力をつけていきます。						

科目名	美術Ⅰ			単位数	2	履修区分	選択必修
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	美術1 (光村図書出版)		
履修の条件							
先生からの アドバイス	年間を通して色々な分野の制作活動を行いたいとおもいます。創作活動を通じて自分を表現してみたい人、是非受講してください。						

科目名	美術Ⅱ			単位数	2	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	美術2 (光村図書出版)		
履修の条件	美術Ⅰを履修した後に履修すること。						
先生からの アドバイス	美術Ⅰで学んだ基礎をいかして、さらに発展させた課題にチャレンジしてみましょう。						

科目名	書道Ⅰ			単位数	2	履修区分	必履修
対象の部			夜間部	使用教科書 教材		書道Ⅰ (東京書籍)	
履修の条件							
先生からの アドバイス	前期は硬筆を中心に、まず「五十音」の書き順とバランスの確認をします。後期は筆を使用して楷書の基本を確認し、自分で選んだ言葉や詩文で創作まで行います。短い時間ですが、集中して「文字を書く」ことで自分と向き合う時間としてください。						

科目名	コーラス			単位数	②	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材		みんなのコーラス(野ばら社) 歌のミュージックランド(教育出版)	
履修の条件	音楽に関心があり、歌う意欲があること。						
先生からの アドバイス	歌うことを楽しみましょう。いろいろなジャンルの曲に挑戦していきましょう。						

科目名	伝統工芸			単位数	②	履修区分	自由選択
対象の部	午前部			使用教科書 教材		結城紬後継者育成研修テキスト (茨城工業技術センター繊維工業指 導所)	
履修の条件	履修可能人数3～20名						
先生からの アドバイス	手織りと機械織りの違いを、体験を通して感じてください。 地域の伝統工芸の技法を継承する方々と交流し、地元への誇りや愛着を持ってください。						

科目名	陶芸Ⅰ			単位数	②	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材		本校作成プリント等	
履修の条件	履修可能人数3～12名						
先生からの アドバイス	無心になって土をこね、一つの作品を生み出す達成感や喜びを味わってほしいと思います。また、集中力・粘り強さを養うこともできます。						

科目名	陶芸Ⅱ			単位数	②	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	本校作成プリント等		
履修の条件	陶芸Ⅰを修得済みであること。 履修可能人数3～12名						
先生からの アドバイス	作品展に出展するための作品づくりをします。 陶芸Ⅰの応用で、いろいろな角度でものを見て、自己表現にむすびつけていってほしいと思います。						

科目名	英語コミュニケーションⅠ			単位数	2	履修区分	必履修
対象の部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材	COMET English Communication I (数研出版)		
履修の条件	必ず履修することが必要です。また引き続き英語コミュニケーションⅡを履修してください。						
先生からの アドバイス	習熟度別のクラスで授業を行います。英語を読む、聞く、書く、話す(発表)、話す(やりとり)のを中心としたさまざまな活動を行います。中学校既習事項から丁寧に学習します。						

科目名	英語コミュニケーションⅡ			単位数	2	履修区分	必履修
対象の部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材	COMET English Communication I (数研出版)		
履修の条件	英語コミュニケーションⅠの履修がすでにあること。						
先生からの アドバイス	習熟度別のクラスで授業を行います。英語コミュニケーションⅠを基礎として学習を行います。英語の基本的な文法事項を様々な活動を通して学習しましょう。						

科目名	英語コミュニケーションⅡ			単位数	4	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	COMET English Communication II (数研出版)		
履修の条件	英語コミュニケーションⅠを履修した後、 α (2単位)と β (2単位)を合わせて履修することが必要です。						
先生からの アドバイス	英語をより発展的に学習したい人におすすめです。英語コミュニケーションⅠがレベルアップしたものと考えてください。大学進学希望者にも向いています。						

科目名	論理・表現Ⅰ			単位数	2	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	未定		
履修の条件	2年次から履修できます。						
先生からの アドバイス	表現基礎を履修後に履修することが望ましいです。英語上級者向けです。英語での話すこと(やり取り)、話すこと(発表)、書くことの3つの領域を中心とした授業です。						

科目名	英語基礎			単位数	②	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	Green Prep English (旺文社)		
履修の条件	誰でも履修可能です。						
先生からの アドバイス	英語コミュニケーションⅠ①②の基礎として、中学校での学び直しを中心に行います。説明と問題演習を繰り返し、基礎力の定着を目指して学習を進めて行きます。						

科目名	英語基礎			単位数	③	履修区分	自由選択
対象の部			夜間部	使用教科書 教材	Green Prep English (旺文社)		
履修の条件	誰でも履修可能です。						
先生からの アドバイス	英語コミュニケーションⅠ①②の基礎として、中学校での学び直しを中心に行います。説明と問題演習を繰り返し、基礎力の定着を目指して学習を進めて行きます。						

科目名	表現基礎			単位数	②	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	Speak Up Now! (数研出版)		
履修の条件	誰でも履修可能です。						
先生からの アドバイス	基本的な文法や簡単な会話表現を定着させ、英語を話すこと・自分の意見を相手にわかりやすく伝えることを目指し、簡単な表現を使った初歩的な授業です。会話練習、短い文章を書くことを通して、初歩的・基本的な英語の発信力を習得しましょう。						

科目名	表現基礎			単位数	③	履修区分	自由選択
対象の部			夜間部	使用教科書 教材	Speak Up Now! (数研出版)		
履修の条件	誰でも履修可能です。						
先生からの アドバイス	基本的な文法や簡単な会話表現を定着させ、英語を話すこと・自分の意見を相手にわかりやすく伝えることを目指し、簡単な表現を使った初歩的な授業です。会話練習、短い文章を書くことを通して、初歩的・基本的な英語の発信力を習得しましょう。						

科目名	中国語			単位数	②	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	<新版>中国語10課 (白水社)		
履修の条件	新1年生を含む誰でも履修可能です。						
先生からの アドバイス	中国語を初めて学習する人向けの講座です。中国語の音を聞くこと、 恥ずかしがらずに大きな声で発音すること、これが発音が上手になるコ ツです。ペアワークなどの練習に積極的に参加しましょう。						

科目名	家庭基礎 1			単位数	1	履修区分	必履修
対象の部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材	未来へつなぐ家庭基礎365 家庭科55資料集デジタルPlus (教育図書)		
履修の条件	引き続き家庭基礎2を履修すること(継続履修)						
先生からの アドバイス	生活に関わること全般を学習します。家庭基礎1では、生活設計・青年期と家族・高齢期・共生社会・消費生活と意思決定について、座学をメインで学習します。						

科目名	家庭基礎 2			単位数	2	履修区分	必履修
対象の部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材	未来へつなぐ家庭基礎365 家庭科55資料集デジタルPlus (教育図書)		
履修の条件	家庭基礎1を履修した後に履修すること(継続履修)						
先生からの アドバイス	生活に関わること全般を学習します。家庭基礎2では、食生活・衣生活に保育・住生活などについて実習を取り入れながら学習します。食生活の分野では食物検定4級程度の調理技術の習得を目指します。						

科目名	情報Ⅰ			単位数	2	履修区分	必履修
対象の部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材	最新情報Ⅰ 新訂版 (実教出版)		
履修の条件							
先生からの アドバイス	<p>情報Ⅰでは、情報モラルや情報デザイン、情報セキュリティなど現代の情報化社会を生きていくうえで必要不可欠な内容を中心に学習します。また、プログラミングやデータ分析、プレゼンテーション作成などにおいては適宜実技を取り入れ、実践的に学習できるようにしています。</p>						

科目名	情報処理			単位数	2	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	Prologue of Computer 情報処理 新訂版 (実教出版)		
履修の条件	日本情報処理検定協会主催の各種検定受験への理解があること。また、合格に向けて努力できること（検定試験は週休日に設定されます）（検定直前には授業時間外にも課外を認めます）						
先生からの アドバイス	進む分野を問わず高校卒業後に必須となる文書作成ソフトや表計算ソフトなどの基本的な利活用について学びます。情報Ⅰ（情報科）は座学が中心ですが、情報処理（商業科）では実技を中心に学習します。 日本情報処理検定協会主催の各種検定（7月・10月・12月・2月実施予定）の合格に向けての問題演習も積極的に行います。						

科目名	情報処理			単位数	3	履修区分	自由選択
対象の部			夜間部	使用教科書 教材	Prologue of Computer 情報処理 新訂版 (実教出版)		
履修の条件	日本情報処理検定協会主催の各種検定受験への理解があること。また、合格に向けて努力できること（検定試験は週休日に設定されます）（検定直前には授業時間外にも課外を認めます）						
先生からの アドバイス	進む分野を問わず高校卒業後に必須となる文書作成ソフトや表計算ソフトなどの基本的な利活用について学びます。情報Ⅰ（情報科）は座学が中心ですが、情報処理（商業科）では実技を中心に学習します。 日本情報処理検定協会主催の各種検定（7月・10月・12月・2月実施予定）の合格に向けての問題演習も積極的に行います。						

科目名	ビジネス・コミュニケーション			単位数	2	履修区分	自由選択
対象の部			夜間部	使用教科書 教材	ビジネス・コミュニケーション (東京法令出版)		
履修の条件							
先生からの アドバイス	社会人として必須となるマナーやコミュニケーション方法などを学びます。また、マーケティング分野やマネジメント分野の基礎理論についても併せて学習します。 また、必要に応じて公益財団法人実務技能検定協会主催の秘書検定や全国商業高等学校協会主催のビジネス・コミュニケーション検定試験の問題演習も行います。						

科目名	簿記			単位数	2	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材	新簿記 新訂版 (実教出版)		
履修の条件	全国商業高等学校協会主催の簿記実務検定受験への理解があること。また、合格に向けて努力できること（検定試験は週休日に設定されます）（検定直前には授業時間外にも課外を設定します） 電卓を用意できること（四則演算ができれば充分です）						
先生からの アドバイス	ビジネスの共通言語とも呼ばれる簿記会計について、財務会計の基礎的内容を中心に学習します。財務諸表の作成や仕訳など計算を必要とする内容が多いので、電卓を用意する必要があります。 全国商業高等学校協会主催の簿記実務検定3級（1月実施予定）の合格に向けての問題演習も積極的に行います。						

科目名	生活と福祉			単位数	2	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	生活と福祉 (実教出版)		
履修の条件	家庭基礎(1及び2)を先に履修していること(継続履修)						
先生からの アドバイス	福祉に興味のある方、将来福祉関係の仕事に就きたい方にお勧めします。高齢者介護について、介護保険制度などの制度を学んだり、ベッドメイキングなどの介護実習を行います。本校開講の「社会福祉」と学習・実習の内容が重なる部分があります。						

科目名	フードデザイン			単位数	2	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	フードデザイン 新訂版 (実教出版)		
履修の条件	1 家庭基礎(1及び2)を先に履修していること。 2 食物検定4級程度の調理技術習得者。3 履修可能人数3~10名。						
先生からの アドバイス	家庭基礎2の食物分野で学んだことを、さらに発展させて学習します。基本的な調理ができることを目指して学習や実習を行います。調理は科学です。調理実習も行いますが、あわせて食品や栄養の学習(理論)も進めていきます。食物検定3級が合格できるレベルを目指していきます。						

科目名	製菓実習			単位数	②	履修区分	自由選択
対象の部		午後部		使用教科書 教材	中学生のためのスイーツの教科書 (吉備人出版)		
履修の条件	履修人数上限あり。						
先生からの アドバイス	洋菓子、和菓子、パンなどの実習を毎回行います。実際にさまざまな調理をすることで、基本的な技術を学ぶことができます。材料の計量から、後片付けまでしっかりと行います。 実技授業の中に座学もあります。また、前・後期末に実技テストを行います。						

科目名	スポーツⅣ			単位数	2	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	本校作成プリント		
履修の条件							
先生からの アドバイス	身体トレーニングを通して人体の構造を知り、表現活動としてダンスを創作し発表ができるようになります。						

科目名	心理学			単位数	1	履修区分	必履修
対象の部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材	本校作成テキスト		
履修の条件							
先生からの アドバイス	この授業を通して、お友達をつくる方法を見つけましょう。						

科目名	心理学演習			単位数	①	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	本校作成テキスト		
履修の条件							
先生からの アドバイス	人とかかわるといことは、心理学の要素がいっぱいです。楽しい雰囲気の中で学んでいきましょう。						

科目名	着付け			単位数	②	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	入門初修課程実技編 (装道礼法きもの学院テキスト)		
履修の条件	履修可能人数20名。						
先生からの アドバイス	実技を中心とした授業になります。必要なものは各自で準備することになります。						

科目名	手話			単位数	②	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	茨城の手話 第一版 改訂版 地名手話 (社団法人茨城県聴覚障害者協会)		
履修の条件							
先生からの アドバイス	手話表現を覚えることで、簡単な日常会話が手話でできるようになります。						

科目名	社会福祉			単位数	①	履修区分	自由選択
対象の部		午後部		使用教科書 教材		産業社会と人間 (茨城県教育委員会)	
履修の条件	卒業年次でないことが望ましい。						
先生からの アドバイス	福祉に興味のある方にお勧めします。 ボランティアに興味があるけれどもどうしたらよいかわからないと いった場合に、ボランティアに参加する時の心構え等を学んだり、実技 を行ったりします。授業に積極的に参加し、社会福祉について考える力 を身につけてもらいたいです。						

科目名	ヨガ			単位数	②	履修区分	自由選択
対象の部		午後部		使用教科書 教材		これ1冊できちんとわかるヨガ (マイナビ出版)	
履修の条件	履修可能人数3～30名。						
先生からの アドバイス	体育時着用のジャージで受講してください。一年間を通して基本的な ヨガの呼吸法やアーサナ(ヨガのポーズ)、瞑想を学びます。自分の ペースで無理せず体を動かしていきます。柔軟性を高めたい人、ヨガ を体験してみたい人は是非履修してみてください。						

科目名	社会人基礎			単位数	①	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材		最新版 楽しく学べるマナーの基本 (教育図書)	
履修の条件							
先生からの アドバイス	社会人としてのマナーと家庭生活の中で知っておきたいマナーについて 学習します。						

科目名	総合的な探究の時間1			単位数	1	履修区分	必履修
対象の部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材	本校作成テキスト		
履修の条件							
先生からの アドバイス	探究の手法を学んだうえで、学校生活を通して自分自身を見つめるとともに、周囲の人々との関わりについて考える機会にしましょう。						

科目名	総合的な探究の時間2			単位数	1	履修区分	必履修
対象の部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材	本校作成テキスト		
履修の条件							
先生からの アドバイス	自己理解を深めることで、社会との関わり方を考えてみましょう。そこから、進路実現の方法を探してみましょう。						

科目名	総合的な探究の時間3			単位数	1	履修区分	必履修
対象の部	午前部	午後部	夜間部	使用教科書 教材	本校作成テキスト		
履修の条件							
先生からの アドバイス	希望進路を具体化し、進路実現に向けて実践に取り組んでみましょう。さらには、社会に出る前の準備をしましょう。						